

第28回尾張旭市健康まつり実行委員会 議事録

1 開催日時

平成28年7月7日（木）

開会 午後2時

閉会 午後2時40分

2 開催場所

尾張旭市保健福祉センター 2階 201・202会議室

3 出席委員

金森俊輔、松原永知、加藤富士子（代理）、加藤雅人、前川辰彦、長谷川せつ子、星野幸子、佐藤安子（代理）、酒井あや子、後藤かよ子、佐伯志穂、青山幸枝、永井典子、足立文明、北野淑恵

4 傍聴者数

0名

5 事務局

健康課 課長 木戸雅浩、健康課 課長補佐兼庶務係長 清水直己、健康課 課長補佐兼健康係長 加藤ひとみ 健康まつり担当 對島智美、政木麻衣、中田麻子

6 議題

- (1) 第28回尾張旭市健康まつりの実施報告について
- (2) 第28回尾張旭市健康まつりの収支決算報告について
- (3) 第28回尾張旭市健康まつりの意見・感想について

7 会議の要旨

事務局	ただいまより、第28回尾張旭市健康まつり実行委員会を開催する。会議の議長は会長が行うこととなっているため、進行を実行委員会会長の金森先生にお願いする。
金森議長	それでは、議題1「第28回尾張旭市健康まつりの実施報告について」および「第28回尾張旭市健康まつりの収支決算報告について」事務局より説明いただきたい。
事務局	（第28回尾張旭市健康まつりの様子を、パワーポイントを用いて説明） 今年の健康まつりは「のばせ！健康寿命」をテーマに実施し、1,600人が参加した。 屋外は、風が強く、転倒や物が飛ばないように注意が必要だった。駐車場は第2駐車場を市民に開放したため、常に満車だったが絶えず車の動きがあり、全く停められない状態ではなかった。

事務局

1階は、地域婦人団体連絡協議会による、愛知一斉キャンペーン、パネル展示・啓発物品の配布とスタンプラリー用紙配布・記念品交換を行った。記念品はあさび一手ぬぐいと折り紙の中から選んでいただいた。薬剤師会コーナーでは、医薬品全般についての相談、薬に関するクイズを実施し、昨年同様好評だった。

2階の201・202会議室では、国際ソロブチミスト瀬戸による環境保全啓発、DV啓発。歯科医師会による歯の健康度チェック、歯科相談、歯磨き粉作り、歯ブラシ交換歯磨き指導、細菌数測定を行った。

2階けんこうホールでは、瀬戸旭医師会による、健康相談、在宅医療に関するミニ講座、リーフレット配布。公立陶生病院によるがん相談、減塩チェック、高血圧指導。旭労災病院による、筋力測定、健康相談、血糖測定。瀬戸保健所による肺・肌年齢測定、こころの健康相談を行った。測定コーナーでは、身長・体重・血圧測定、足裏画像測定、超音波骨密度測定、体組成測定、今年からロコモチェックを行った。あづま会の皆さんには身長・体重・血圧測定や誘導にご協力いただいた。

3階では、食生活改善協議会による減塩食の展示や試食。手洗いチェックコーナーでは手の細菌数のチェックを行った。

4階のシアタールームでは、軽度認知障がいチェックテストあたまの元気まると血液サラサラチェックを行った。生活学校の皆さんには血液サラサラチェックの整理券配布や、誘導にご協力いただいた。

4階元気測定室では、ネットで元気まる、脳年齢測定を行った。

4階いきいきホールでは、健康づくり推進員によるお手玉つみ、折り紙、サビつき度チェック。子育て支援センターによる赤ちゃんハイハイ、かけっこよーいどん。健康づくり講演会では、河村 聡枝氏による「笑い体操で心も体もスッキリ元気に」～笑ってのばそう健康寿命～をお話していただいた。

(収支決算報告について、資料2を用いて説明)

健康まつりの予算75万円から支出した。

歳出合計は75万円であり、その内訳は講演会講師謝礼、測定業務委託料として委託料315,920円。ボランティアスタッフ用昼食弁当代、講師飲み物代として食糧費70,924円。立て看板制作費、のぼり旗購入代として啓発費77,241円。赤ちゃんはいはい景品代、測定機器用消耗品、スタンプラリー記念品購入代として材料・消耗品費266,606円、印刷用紙購入、コピー代として事務消耗品費19,309円であった。

収支については、監事の瀬戸保健所健康支援課 北野主査に、先に監査を実施していただいている。

北野監事	第28回尾張旭市健康まつり実行委員会の収支決算書の各事項について帳簿等を確認し監査したところ、その内容の適正なることを認める。監査は、平成28年6月21日に実施した。
金森議長	何かご意見はないか。
	(意見なし)
金森議長	議題1「第28回尾張旭市健康まつりの実施報告について」および「第28回尾張旭市健康まつりの収支決算報告について」承認を得たい。
	(異議なし)
金森議長	次に、議題(3)「第28回尾張旭市健康まつりの意見・感想について」事務局より説明いただく。
事務局	議題(3)「第28回尾張旭市健康まつりの意見・感想について」、委員の皆さんから各所属ごとの意見・感想をお願いしたい。なお、健康まつり当日のアンケートで出た意見等については、資料3のとおりである。
瀬戸旭医師会	ミニ講座では在宅医療の話を繰り返し行った。健康寿命や歩くことの大切さ等の話をした。健康相談では24名の相談があった。1人9分程でゆっくりいろいろな相談をうけることができた。
歯科医師会	盛況であった。毎年楽しみに来てくれる方もいて励みになっている。歯科学生に協力いただき、スムーズに実施できた。来年も同様の規模で実施したい。
健康づくり食生活改善協議会	減塩食の試食・説明、紙芝居を行った。来場者数が読めないため、試食づくりが大変であった。手洗いチェックをしてから試食をしてもらったため、衛生面からもよかった。ふれあいルームに入る前に靴をぬいでもらうことが、周知できておらず、何回も言うのが大変だった。わかりやすくラインをひくなど工夫したい。
健康づくり推進委員会	特に問題ない。サビつき度に関しては行列ができる程盛況だった。旭中の駐車場にとめた会員が15時に車の移動に行ったが、前の車の方がいなかったため移動できず、帰りのあいさつに間に合わなかった。検討してほしい。
地域婦人団体連絡協議会	入口でスタンプラリーをもらう人と薬剤師会コーナーで並んでいる人とで違った返していた。コーナーの場所を検討してはどうか。
生活学校	血液さらさらチェックの整理券配布・誘導を行った。他のコーナーでいろいろなことをやっていることがわかった。来年は他のコーナーも体験したい。
あづま会	身長・体重・血圧測定を行った。年齢に関係なく、たくさんの方に体験してもらった。さまざまな人と出会えてよかった。スタッフの椅子の準備がなく、一日中立ちっぱなしだった。スタッフが高齢のため椅子の準備をしてほしい。スタッフ駐車場が今年から旭中に変ったが、遠くて大変だった。4人乗り

	合わせてくるため、1台近くで確保してほしい。
スポーツ推進委員	あさひスマイルウォーキングを行った。報告書にはないが、5～600人参加した。風が強く飛ばされそうだったと意見がでたが、概ね好評だった。反省点としては、毎年同じコースのため少し変化をもたせる必要があるのではないかと思っている。ゴールの位置は毎年同じだが、まつりのスタンプラリーの記念品交換と間違われる方がいる。ゴールの位置を検討してもよいと思う。参加者が増えるように企画していきたい。
国際ソロプチミスト瀬戸	DV防止の啓発をしている。DV相談をうけ、県の相談先を紹介した。まつりと関係することも企画できればと思っている。
旭労災病院	血糖測定が盛況であった。まつりに参加することで職員の絆も深まっている。
公立陶生病院	減塩指導とがん相談を行った。高血圧指導として看護師、保健師によ相談をした。減塩は病院で力をいれている。次回も引き続き行っていきたい。
薬剤師会	入口付近で大変込みあった。コーナーの位置が壁寄りに後ろに下がった分、いつもの年よりもよかった。地域に貢献するという国からの指導もあり、まつりにでたいという薬剤師もあった。来年、スタッフ人数が増えれば誘導ができると思うので人数も検討したい。薬手帳をもって相談にくる方もいた。だれに相談したらいいかわからないという声もあったので工夫したい。
瀬戸保健所	肌年齢測定は、毎年実施しており好評であった。こころの健康クイズは、うながしても断られる方が多かった。PRの方法を検討したい。
金森議長	他に意見はないか。
金森議長	昨年健康まつりで旭労災病院の木村院長による減塩の講演があった。こども頃から推進していくことが必要で、今後給食センターとも相談していく方向。健康まつりをきっかけに減塩の推進が広まってきている。いろいろな機会にみなさんの意見を聞いて進めていきたい。
金森議長	これをもって、第28回尾張旭市健康まつり実行委員会を閉会する。